



2021年4月19日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 41号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. アジア域内の第1四半期のカカオ豆磨砕数量は前年対比3.1%増加 (4/16)

金曜日に発表されたアジア・ココア協会の数字によると、アジアのカカオ豆の挽き取り量は、第1四半期に前年同期比で3.1%増加しました。

カカオ豆の磨砕数量は、2020年第1四半期の20万7356トンに対し、21年の第1四半期は21万3858トンとなりました。この数字は前年対比では上回っていますが、217,546トンだった2020年第4四半期の磨砕数量からは1.7%減少している。

カカオの需要を示す指標として、ココア豆をチョコレートの材料となるバターやパウダーに加工した量を示す「カカオ磨砕数量=Cocoa Grinding」があります。

業界団体は、マレーシアのほか、シンガポールとインドネシアにあるアジア・ココア協会の会員企業の磨砕数量のデータを集計して発表しています。

2. マレーシア第1四半期のココア挽き売りは前年同期比12%増の8万3,990トン(4/14)

マレーシア・ココア・ボードとカカオ豆の加工業者の団体が今週の水曜日に電子メールで発表した声明によると、同国内の、第1四半期のカカオ豆の磨砕数量は、前年同時期の74,831トンから12%上昇し、83,990トンとなった。また、20年の第4四半期の87,163トンと比較すると3.6%の減少となった。

3. 欧州域内の第1四半期のカカオ豆磨砕数量は4年ぶりの低水準に (4/14)

欧州ココア協会がウェブサイトで発表したところによると、第1四半期の欧州域内でのカカオ豆の磨砕数量は前年同期比3%減の35万7,815トンとなった。これは第1四半期の磨砕数量としては、2017年以来の低水準。事前のブルームバーグ社の調査では、専門のアナリスト、トレーダー、ブローカーは2%の減少を予想していたので、予測よりも低い着地となった。

尚、2020年第4四半期の磨砕数量は34万4,151トンであり、第一四半期の方が磨砕数量は伸びた。

国別では、主要国のドイツでの磨砕数量は、第1四半期に前年同期比8.1%減の9万1482トンとなったと、ドイツ菓子工業会(BDSI)がウェブサイトで発表した。

4. 北米のカカオ磨砕数量は第1四半期で昨年対比2%上昇、協会が発表(4/14)

ワシントンに本拠を置く全米菓子協会は、同協会のウェブサイトに掲載された声明の中で、北米地域のカカオ豆の磨砕数量が前年同期の115,591トンから117,956トンに約2%増加したと発表した。事前のブルームバーグの調査によると、アナリストは2.5%の増加を予想していた為。予測よりやや低い数字。

《近年の北米カカオ豆磨砕数量の推移》

	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
	2021	2020	2020	2020	2020
カカオ豆磨砕数量(Mt)	117,956	118,043	118,260	110,776	115,591
前年対比(Mt)	2,365	7,672	-4,948	-13,274	-6,210
前年対比(%)	2.05%	6.95%	-4.02%	-10.70%	-5.10%
調査対象の工場数	17	17	17	18	17

上記資料出典): National Confectioners Association

5. ゴディバ、モンドリーズ社とカナダでの商品販売契約を締結(4/16)

高級チョコレートブランドのGodivaのオーナーが、Mondelez International Inc.と契約を結び、アメリカの大手食品会社の販売チャネルを利用してカナダで製品を販売することになったと報道された。

ブルームバーグが見たYildiz Holding ASの文書によると、Mondelez Canadaとの契約により、Godivaはカナダでの足場をより強固なものにすることができるという。

Godiva Chocolatier Inc.を所有するイスタンブールに本拠を置くYildiz社の広報担当者はコメントを拒否した。また、モンドリーズも、トルコにある同社のオフィスの広報担当者によると、すぐにはコメントを得られなかった。

今回の動きは、パンデミックの影響で対面式のショッピングが減少していることから、ゴディバ社が北米にある128の実店舗を売却または閉鎖することを決定したことを受けたものです。1920年代にベルギーで設立されたゴディバは、2007年にYildiz社によって買収された。

6. 違法採掘に対抗するため、Cocobodはカカオ生産者への補償金300万セディを提案(4/16)

ガーナ・ココア・ボード(COCOBOD)は、政府によるカカオ農園での違法採掘の取り締まりに参加するため、違法採掘者によって土地を失ったカカオ農家への補償金として、363万ガーナ・セディ(GH¢3,630,000)を提案しました。(日本円ベースにて約5500万円相当)

この提案は、アクラで開催された国土天然資源省主催の「小規模鉱山に関する全国協議会」で、COCOBODが関係者に提示したものです。



*会合にて発表するドウオモ博士

違法採掘との戦いに関する COCOBOD の立場を示す政策文書を発表した農学・品質管理担当副長官の Emmanuel Agyemang Dwomoh 博士（以下、ドウオモ博士）は、カカオがガーナに年間 22 億米ドル以上の海外収益をもたらしていることを明らかにしました。カカオはガーナ経済の柱であるため、違法採掘者やその協力者が取引を継続することを阻止するための政府の政策にカカオ産業も協力することで、カカオ産業を維持する努力を怠らないと述べました。

ドウオモ博士は、鉱業は、作物の損失、農民の収入の減少、水域の汚染、野生生物への脅威など、環境に壊滅的な影響を与えていると強調しました。COCOBOD は、持続可能な生産を促進するために、農場の復旧、灌漑、肥料の補助、市民への啓発、教育のために 2 億米ドルを投資していると言います。

「COCOBOD は、古い農園を修復するための活動に 1 エーカーあたり 11,892 ガーナセディ（約 22 万円）を支払っており、環境や農民の生活に悪影響を及ぼす違法採掘によってこれらの投資が失われないよう、政府に保護を求めている」と彼は言います。また、ドウオモ博士は、違法採掘が横行しているカカオ栽培地域の持続可能な土地・水管理システムへのアプローチとして、加工に焦点を当てた法律の枠組みを構築すべきだと述べました。

「採掘が避けられない場合には、農場を破壊された農家への補償として、1 ヘクタールあたりの予測収益である 363 万ガーナセディ（5500 万円相当）を支払うべきです」と強調しました。

彼は、COCOBOD と Lands and Minerals Commission が協力して、カカオ栽培地域の違法採掘者に対する制裁を合理化し、強化する必要があると述べました。また、「見込みのあるコミュニティで公開討論会が開催されるまでは、カカオ農地での採掘のためのライセンスやリースを発行すべきではありません」と強調しました。

7. ファンド勢のNYカカオ先物は、純買い越しポジション再び増加(4/17)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買いポジションを2,528、13,386 ロット増やして、15,914 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで (今週で言えば、4月13日まで) の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は4月13日までで、前週より9増加して、39,797 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は4月13日までで、前週より2,519 ロット減少して、23,883 ロットとなった。売りポジションの総数は過去3週で一番少ない数字。

8. ファンド勢のロンドンカカオ先物は純買い越しポジションを減らし21週ぶり低水準(4/17)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買いポジションを23,163 ロット減らし、7,534 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、4月13日) の取引が含まれている。

- 純買いポジションは最近21週間の間で最も低い水準
- 買いポジションの総量は4月13日までで、前週より15,364 ロット減って、18,463 ロットとなり、最近3か月(12週間)で最も低い数量。
- 売りポジションの総量は4月13日までで、前週より7,799 ロット増加して、10,902 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は過去21週間で最も多い数字。

9. 新商品情報①：「カカオ豆の殻」「枝」「葉」を使用 新しいチョコレート「ECOLATE」

株式会社LIFULL (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上高志) は、飲食事業LIFULL Table Presents「地球料理 -Earth Cuisine-」プロジェクトの第三弾として、カカオの廃材を使用した新しいチョコレート「ECOLATE」の予約販売を4月15日(火)より開始した。

本プロジェクトは、株式会社LIFULLがフーズカカオ株式会社 (本社：東京都渋谷区、代表取締役：福村瑛) と協業し、人気若手シェフ江藤 英樹氏、上妻 正治氏とタッグを組むことで実現した。

「ECOLATE」最大の特徴は、一般的なチョコレート製造で用いられているカカオマスやココアバターを使用せず、通常廃棄されてしまう3つの素材「カカオ豆の殻」「枝」「葉」を使用している点である。カカオ豆の殻の香ばしさや、枝・葉の森にいるような木々を感じる香り、3種の素材の新しい食感と歯ざわりを楽しむことができるようだ。

《写真①》



《写真②》



写真① ECOLATE CARRE (エコレート カレ) 2,200 円 (税込)

右上：カカオ豆の殻の含有量 50% 右真ん中：枝の含有量 20% 右下：カカオ豆の殻・枝・葉の含有量 30%
江藤 英樹シェフ開発

写真② ECOLATE TABLETTE (エコレート タブレット) 1,760 円 (税込)

カカオ豆の殻の含有量 33%
上妻 正治シェフ開発

これらの商品には、「カカオの廃材」に新たな「食材」としての価値を与えることで、カカオを取り巻く社会課題を今一度提起し、あらゆるステークホルダーが「幸せ」を見つけられる「新たな美味しさ」を提案したいという願いが込められている。農家の貧困問題をはじめ、カカオ豆の供給不足、環境問題、農薬問題、遺伝資源の保存など様々な課題を解決するための1歩になりうると考えられる。

*株式会社 LIFULL 運営 EC サイト、予約販売は下記 URL より

<https://table.lifull.com/earthcuisine/ecolate/>

*商品説明および、写真は下記プレリリースより

<https://www.oricon.co.jp/pressrelease/869621/>

10. 新商品情報②：チョコレート効果カカオ 72%アーモンド大袋が登場 (4/13)

健康を考えるチョコレート効果アーモンドに大袋タイプが新登場！「チョコレート効果カカオ 72%アーモンド大袋」4月20日から新発売／全国



「チョコレート効果カカオ 72%アーモンド大袋」(166g) 45 粒

参考小売価格：648 円 (税込)

「チョコレート効果」は、1998 年の発売より、健康意識の高い大人の方を中心に好評いただいているロングセラーブランドです。今般、食物繊維が豊富なアーモンドが入ったチョコレート効果アーモンドの大袋タイプである「チョコレート効果カカオ 72%アーモンド大袋」を発売します。

本商品は、45粒^{*2}入りの大袋タイプなので、毎日食べるチョコレート習慣にぴったりです。カリッとした食感の素焼きアーモンドに、カカオ分72%の高カカオチョコレートを組み合わせ、味わい深く仕立てました。

上記内容出典及び、詳細情報は下記プレスリリースより

https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2021/0413_01/

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。